

令和元年度大型再処理施設放射能影響調査事業評価結果
(大型再処理施設放射能影響調査事業企画評価委員会)

調査事業名	総合評価
①環境影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>環境中に放出された核種の挙動につき、モデルと実測を組み合わせた研究成果が得られつつあり、世界的に見て非常に多くの貴重な結果が得られていると評価する。</p> <p>県産の農産物や水産物を念頭においた対象の選定も地域のニーズに配慮されている。</p> <p>福島での調査や研究の成果の取り入れや比較検討をしていただきたい。</p> <p>従来環境移行パラメータが評価されてきた欧米の地質とは異なる条件での成果であり、本研究の特徴を強調した成果発表をしていただきたい。</p>	
調査事業名	総合評価
②環境影響に関する調査研究 (公益財団法人日本海洋科学振興財団委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>海洋に放出された核種について、モデルを構築し、実測値によって検証しつつ精緻化する事業が進展しつつあり、不確かさの大きい中、検証可能なモデルの高度化が進められていると評価する。</p> <p>沿岸域における物質移動は、時空間的に極めて複雑であり、物理的な移動や、生物への移行を加えて予測計算をする必要があるため、今後、モデルの予測結果の精緻化を更に目指すためには、まずは現状の時空間的な核種の濃度変動を正確に把握する観測システムを作る事が重要である。</p> <p>また、海洋技術研究所の福島沖での観測結果の取り入れや比較検討をしていただきたい。</p>	
調査事業名	総合評価
③生物影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>低線量率放射線の影響が個体レベル、組織レベル、分子・細胞レベルで解析が進みつつあり、長期にわたる照射および観察が着実に進められ、高く評価したい。</p> <p>結果の公表については、ICRP など国際機関等に取り入れられるべく、広く発信するとともに、マウスを用いて得られた結果をどのようにヒトにあてはめるのか、について留意願いたい。また、「影響があった」という情報のみが強調されるのは適切ではないため、情報発信にあたっては、常に線量率との関係の中で議論していただきたい。</p>	
調査事業名	総合評価
④小児がん等がん調査事業 (青森県健康福祉部所管事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>着実に情報の蓄積が進んでいるものと評価する。</p> <p>県単位でのこのような調査は他にはないので、広く他県等に発信して、有効活用されることを期待する。</p>	

(参 考)

評価の視点	評価の尺度
(1) 優れた研究成果が上がっているか？ (2) 地域の期待に応えているか？ (3) 社会的ニーズに合致した成果が挙げられているか？	<p>S：想定を上回る優れた成果を上げている。</p> <p>A：基本計画及び実施計画に基づき着実に成果を上げている。</p> <p>B：基本計画及び実施計画通りに成果を上げているとは言えない面もあるが、今後の取組みにより基本計画及び実施計画に基づく成果を達成し得ると考えられる。</p> <p>C：基本計画及び実施計画に基づき成果を上げるためには、実施方法等の大幅な見直しが必要である。</p>